

# 予 算 特 別 委 員 会

## ● 質疑者

3月18日(水)

鈴木 将 (いばらき自民党)

齋藤 英彰 (県民フォーラム)

田村 けい子 (公明党)

中村 (いばらき自民党)

田口 伸一 (いばらき自民党)

3月19日(木)

谷島 洋司 (いばらき自民党)

玉造 順一 (立憲民主党)

山中 たい子 (日本共産党)

臼井 平八郎 (自民県政クラブ)

岡田 拓也 (いばらき自民党)



映像録画は、こちらをご覧ください。

鈴木将委員(自民) 学校給食の停止に伴う食品納入業者などの窮状を把握し、国の早期支援につなげるとともに、給食の安定供給に支障が生じないように、再開に向けた対応が必要だが、所見は、

教育長 食品納入業者などへの支援が早期実現するよう国へ要望する。また、支援策が地域の関連業者に漏れなく行き届くよう情報提供を行う。その他、学校給食調理業者が給食再開に向けて実施する衛生管理の職員研修や設備購入などへの支援も国から示されているため、これらも活用し、食品納入業者などが給食食材を安定的に納入できるように市町村などと連携し対応を進める。(ほかに、新型コロナウイルス対策としてのテレワーク緊急実施の状況と対応、外国人材活躍促進事業なども質問)

齋藤英彰委員(県民) 日立および鉾田児童相談所が設置されるが、その動機と経緯は。また、相談体制は具体的に

にどう強化されるのか。児相の業務量がひっ迫した状況にある中、AIの活用も検討する必要があるのではないかと保健福祉部福祉担当部長 一時保護など現場で迅速な意思決定ができる体制を整備し、児童の安全確保を徹底する。また、職員の増員、虐待事案に対応する専門職員の配置を行い相談体制の強化を図る。AIを活用した児童虐待対応支援システムは、本県で活用できるのか、実証実験が行われている三重県、今後の活用状況を注視していく。(ほかに、新型コロナウイルスに係る中小企業の支援、GAP<sup>※1</sup>の推進なども質問)

田村けい子委員(公明) 摂食障害の相談は、精神保健福祉センターや保健所で対応しているが、相談につながりにくい状況にある。相談窓口があることを県民に分かりやすく告知すべきだと考えるが、所見は、保健福祉部福祉担当部長 相談に対応していることが分かるようホームページを改善していく。また、治療には周囲の理解が不可欠であることから、摂食障害の正しい知識やQ&Aなどの情報発信を強化していく。今後も摂食障害に苦しんでいる人が少しでも早く相談につながるよう努めていく。

中村修委員(自民) 人材不足が顕在化する中、ベトナムと締結した協力覚書を踏まえ、今後、外国人材の受け入れをどのように展開していくのか。知事 ベトナム政府の協力の下、悪質な送り出し機関の排除と優良な送り出し機関との交流強化を図るとともに、

現地での採用面接会開催などにより、県内企業の人材確保を支援していく。また、SNSを活用した相談体制や、ベトナムの職業紹介機関と連携した帰国後の就労支援体制を整備することにより、外国人材が安心して働ける環境づくりを進める。さらに、これらの取り組みを、インドネシア、ミャンマーおよびモンゴルとの間でも進めていく。(ほかに、イバラキセンス、国道二九四号の整備推進なども質問)

田口伸一委員(自民) アクアワールド茨城県大洗水族館新館整備事業について、最終的な総事業費約百三十億円の財源や、交通渋滞対策、大幅な集客アップを可能とする方策とは。そして、収支の見通しをどう考えているのか。知事 ジンベエザメ展示計画に係る財源として国の交付金や県債を活用する。交通渋滞対策として、立体駐車場設置や公有地活用のほか、パークアンドバスライド<sup>※2</sup>、公共交通機関の利用拡大に取り組み、町と連携しソフト面の対策も図る。また、他の観光施設と連携を密にし入館者確保を図り、定期的なリニューアルなどの魅力向上策で維持していく。収支は、水族館スタッフと協議を重ね、他水族館の状況も参考に試算したもので実現可能と考えている。

谷島洋司委員(自民) 県フラワーパークのリニューアルに期待しているが内容。また、地域住民に愛される施設となるよう渋滞などの課題への取り組みを石岡市と進めてほしいが、所見は、営業戦略部長 園内を九つのゾーンに分け、バラを中心としたテーマ別の庭園や、地元食材を使ったレストラン、体験型のワークショップなど、年間を通じて来園したくなる施設へリニューアルする。また、渋滞の主な原因は駐

車場の分かりにくさと台数不足にあるため、石岡市で、駐車場の出入口付近の導線やスペースの改善、臨時駐車場整備などの対策を行う予定である。(ほかに、つくば霞ヶ浦りんりんロードの観光消費額増加への取り組み、新型コロナウイルス対策なども質問)

玉造順一委員(立憲) 国の小委員会は、福島第一原発の汚染水を海洋放出することで「より確実に処分できる」とする報告書を公表した。一方、原発事故後の水産業へのダメージを考えると、元気な農山漁村の創生はかなわなくなる。汚染水の海洋放出への考え方と対応方針は。知事 これまでの関係者の努力をおもなばかることなく、結論ありきの取りまとめを行うことは容認できない。経済産業大臣からは、関係者などの意見をよく聞いた上で、風評への影響を抑えることも含めた対策の結論を出すとの発言もあつたと承知しており、今後の状況を踏まえ対応していく。(ほかに、今後の県財政の目標と運営方針、多様性を尊重する県づくりに向けた取り組みなども質問)

山中たい子委員(共産) 難聴児が補聴機と一体で使用する補聴援助システム<sup>※3</sup>の修理代を含めた費用、成長に合わせて人工内耳の体外装置の買い換えや電池・充電器代などへの経済的支援を求める声が多い。これらの経済的支援の拡充、難聴児在籍校への補聴援助システム整備の拡充について、所見は、保健福祉部福祉担当部長・教育長 補聴援助システム購入費用は高額で負担も大きい。教育現場などを踏まえ助成対象拡充の検討を進める。人工内耳に係る修理は国で助成対象とする検討をしております。また、この

システムの有用性を市町村に周知し、必要に応じて整備するよう働き掛ける。(ほかに、新型コロナウイルス対策、TX通学定期代引き下げなども質問)

臼井平八郎委員(自民) 激甚化する豪雨災害の状況を踏まえ、国は、県や市町村の河川事業を支援するため「緊急自然災害防止対策事業債」を創設した。この支援状況を受けて、河川の堆積土砂撤去にどう取り組むのか。土木部長 堆積土砂の撤去は、本来の治水機能を発揮させる対策として、即効性があり有効である。このため、来年度も当支援を活用し、対策を加速化していく。また、事業実施に当たり、コスト削減や掘削土砂の搬出先の確保が重要となるため、民間事業者による砂利採取の活用や、地元市町村の協力を得ながら進めていく。

(ほかに、農産物の輸出拡大、CSF(豚熱)・ASF(アフリカ豚熱)への対策なども質問)

岡田拓也委員(自民) 学校活動に保護者や地域の大人が関わるコミュニティ・スクール<sup>※4</sup>の取り組みに期待している。また、この導入・運用に当たっては、現在、活動に多くの課題を抱えているPTAとも連携して取り組んで欲しい。今後、どのようにコミュニティ・スクールを展開していくのか。教育長 地域実態に即した導入が進むよう、市町村教育委員会に、コミュニティ・スクール導入準備に関する国のコンサルタント派遣事業の活用を呼び掛け、好事例の紹介も行う。さらに、県PTA連絡協議会とも情報を共有して同制度の理解促進を図りつつ、各校PTAと連携して展開に取り組む。(ほかに、自主防災組織の支援、災害

ボランティア活動の支援なども質問)

※3【補聴援助システム】…騒音や反響音に邪魔されことなく、離れた話し手の声を、複数の受信者が同時に、クリアな音声で聞くことを可能にするシステム。  
※4【コミュニティ・スクール】…学校運営協議会制度を導入した学校のこと。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができる。